

正

宅地造成に関する工事の許可申請書

宅地造成等規制第8条第1項の規定による許可を申請します。					
令和 年 月 日					
(宛先) 岡崎市長 許可申請者氏名 市役所 太郎					
法人である場合、「氏名」は、法人の名称と代表者の肩書・氏名を記載してください。					
1 造成主住所氏名	岡崎市十王町二丁目9番地 市役所 太郎				
2 設計者住所氏名	〇〇設計事務所 代表取締役 〇〇 〇〇 担当 〇〇 〇〇				
3 工事施行者住所氏名	株式会社〇〇建設 代表取締役 〇〇 〇〇				
未定の場合は、「未定」と記入。決定後に「変更届」を提出してください。					
4 宅地の所在及び地番	岡崎市朝日町3丁目2番地、3番地、4番地、赤道の一部 “〇地番の一部”での申請も可能です。				
5 宅地の面積	350.00				
イ 切土又は盛土をする土地の面積	250.00				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>面積は実測面積を小数第2位まで記入してください。(公簿面積ではありません)</li> <li>宅地面積：建築敷地や一体利用面積</li> <li>切土又は盛土をする土地の面積：実際に造成行為のある部分の面積</li> </ul>				
ロ 切土又は盛土の土量	切土	50.00		立方メートル	
	盛土	100.00		立方メートル	
添付する土量計算書と整合させてください。					
ハ 擁壁	番号	構造	高さ	延長	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>擁壁タイプごと図に番号を付けて記入ください。</li> <li>高さは擁壁タイプごと、みかけ高さの最低値～最高値を記入してください。</li> </ul>	①	現場打L型擁壁 L-3.0	2.55～2.95 <small>メートル</small> 12.3 <small>メートル</small>	
		②	間知ブロック積	2.30～3.65	20.0
		③	プレキャストL型擁壁 H-2.0	1.60～1.85	8.5
ニ 排水施設	番号	種類	内のり寸法	延長	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設ごと図に番号を付けて記入ください。</li> <li>口径、寸法等が複数ある場合は、まとめて記入して構いません</li> <li>集水桝等は、延長欄に箇所数を記入してください。</li> </ul>	ア	排水管VU	φ10、φ15 <small>センチメートル</small> 6.0 <small>メートル</small>	
		イ	集水桝	φ25、φ30	3箇所
		ウ	素掘桝	□50×50	3箇所
ホ がいけ面の保護の方法	擁壁設置、種子吹付 等				
ヘ 工事中の危険防止のための措置	交通誘導員の配置 防護柵、シート等の設置 土砂流出の防止 等				
ト その他の措置	※申請地において特に必要となる措置等があれば記入してください。				
チ 工事着手予定年月日	令和〇年 〇月 〇日・許可日 等				
リ 工事完了予定年月日	令和〇年 〇月 〇日・許可日から〇ヵ月 等				
ヌ 工程の概要	準備工→防災工→土工→擁壁工→排水工 等 ※別紙工程表添付も可				
7 その他必要な事項	道路承認工事許可、道路占用許可、砂防許可、狭あい道路協議 等				
※許可に当たって付した事項					
※手数料欄	記入しないこと			※	
	↓裏面もよく確認してください。			受付欄	
				記入しないこと	

注 裏面をよく読んで記入してください。

【注 意】

- 1 本申請に係る宅地造成に関する工事が都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）第 29 条第 1 項または第 2 項の開発許可を要するものである場合には、開発許可を受けることにより宅地造成等規制法第 8 条第 1 項本文の許可は不要となります。
- 2 ※印のある欄は記入しないでください。
- 3 2 欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含む場合には、○印を付しかつ、資格を有することを証明するに足る資料を本申請書に添付してください。
- 4 3 欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。
- 5 7 欄は、宅地造成に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続きの状況を記入してください。
- 6 申請者、造成主、設計者又は工事施工者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。